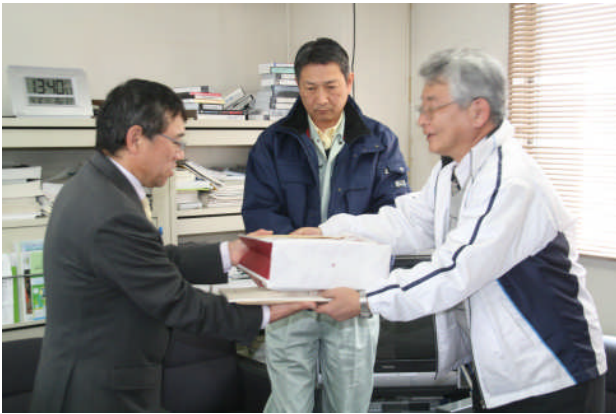


東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.13
2011.4.15

◆兵庫労連が激励に来訪！

4月12日午後、兵庫労連の津川知久議長はじめ4名が、支援物資を満載したワゴン車で岩手県入りし、いわて労連事務局を訪れ、支援金50万円と支援物資をたくさん届けてくださいました。



◆全労連ボランティア活動開始！

大船渡ボランティアセンターに7日夜、全労連・全国災対連のボランティア隊第一陣が到着し、翌日から活動をスタートしました。

参加された中坊廉男さん(全法務)より毎日の活動レポートと写真が届いていますので紹介します。

【4月8日】

活動初日。今日は、陸前高田市で、地元の民商のみなさんと支援物資の配達です。物資



地域の皆さんに支援物資を届ける

を車に積み込み、被災をまぬがれた地域で孤立している集落へ行き、宣伝カーで放送すると、子どもらをあわせて50人以上の大盛況。車2台分の物資が30分程でなくなりました。

報道などでは、物資の過剰も言われはじまりましたが、まだまだ物資は足りていません。

【4月9日】

活動2日目。大船渡市役所三陸支所の引越し作業を手伝います。三陸支所は2階まで浸水したため取り壊すこととなり、旧崎浜小学校に仮支所を設置して再開します。

午後から全労連の小田川事務局長も駆けつけて、作業をしました。



2階まで津波を被った大船渡市三陸支所

【4月10日】

活動3日目。今日は、明日から開院する越お喜来診療所の復旧を手伝います。私たちだけでなく、看護師さんや大阪から来たダスキンさん(消毒作業)らも一緒に作業します。

最初は車庫に置かれたベットや棚などを出して、水洗いする作業です。それらを消毒の終わった部屋に運び込みます。

午後からは車庫のそうじになりました。車庫には津波で流れてきた木材やガレキがたま

っています。軽トラックに載せて、運び出し、最後に水で流すと、うそのようにきれいになりました。



診療所の椅子や棚の清掃作業

【4月11日】

活動4日目。今日は、三陸町公民館の書類探しと整理の作業です。公民館は2階の天井付近まで津波にのまれ、中は被災したままの状態です。作業場所の確保のため、流木や机などの撤去から始めます。

次に図書室にあった書類を探すのですが、扉から入れず、外の窓から入りました。

14時46分、サイレンの音が鳴り響きます。震災から1ヶ月がたちました。私たちも一旦作業の手を止めて、黙祷します。



震災から1ヶ月、黙祷するボランティアスタッフ

【4月12日】

活動5日目。今日は^{ほれい}崎浜小学校を^{ほれい}甫嶺小学



米90トンの運搬作業

校に移転させる作業です。

^{ほれい}甫嶺は、25名から130名の大所帯になります。4月20日に始業式を迎えます。

午後からは、大船渡市内に移動し、^{さかり}盛小学校の体育館に米を運びました。自衛隊が保管している“90トン”の米を地元の方や大阪、愛知などから参加している社協のボランティアの方々と一緒に体育館に並べました。

【4月13日】 活動6日目。今日は、旧崎浜小学校の体育館へ三陸支所の書類を搬送行いました。

支所では、職員とボランティアあわせて20名程で軽トラック4台に書類を積み込みます。

書類は2階の会議室にあり、階段での運搬のうえ、濡れた書類など、運び出すのも困難な書類も多く、大変な作業となりました。

◆自治労連でボランティアセンター準備中

自治労連では、^{やはぎ}陸前高田市矢作の「鈴木旅館」を宿舎に、『自治労連ボランティアセンター』を立ち上げる準備を進めています。4月22日からボランティア活動がスタートする予定です。



書類を小学校の体育館へ運搬